

◆引越し体験記◆

## 新病院移転までの道のり～現在進行中～

塚 越 貴 子

### I. はじめに

前橋赤十字病院は1913年（大正2年）に日本赤十字社群馬県支部病院として前橋市の現在の場所に開院した。以降、群馬県の基幹病院として高度急性期・救急医療を担っている。以前より増改築による導線の複雑化や本館老朽化に加え、駐車場不足から周辺道路の渋滞などの問題があったが、現地に新たに病院を建設することが困難であるため、2011年に開院後初となる新築移転が決定された（表1）。当院図書室の引越しは今回で2度目であるが、1度目（2000年）は本館2階から現在の新設された基幹災害医療センター2階への建物間の移設で、完成された建物に旧図書室の資料を運搬し、当時保管していた古い図書や雑

誌は、ほぼ廃棄したため日数も労力もさほどかからなかった。看護学校図書室から異動した現担当者は新病院図書室の引越しが初業務となった。基本構想から関わることができていたら、担当者や利用者の意見が反映されたもっと使い勝手のよい図書室になっていたと悔やまれた。新病院移転についての著作は多く見受けられるが、現在進行中の病院の現況がわかる資料はあまり見受けられないので、「みんなにとってやさしい頼りになる病院」をコンセプトに、2018年6月1日に新しい場所に開院する病院の移転前段階について記すことにする。

### II. 移転前段階

始まりは2012年6月。まだ移転先も決定していない具体的な建設年数が未定の時期に、病院建設準備室に職員図書室と患者図書室の要望書を提出したことから発する。当初はまだ〇〇を設置するとだけ公表された段階で、イントラに基本計画が掲載されて以降、議論の場はなく、図書室についても、決定していたのは「設置する」ということと、おおよその「場所」のみであった。今後のスケジュールは、年度内には設計に入れるよう取り組んでおり、併せて院内での検討も再開する予定となっている。

設計が始まると、設計業者に病院の考え方を伝えて書いたものを病院に提出し、直しを依頼し再提出の繰り返しで事業が進行するよ

表1 新病院の概要

建設場所	前橋市朝倉町・後閑町地内 (現病院から南へ約3km)
敷地面積	121,687㎡ (延床面積 56,531㎡)
建物規模	地上7階、塔屋1階
主な建物	病院本館、屋上ヘリポート、 備蓄倉庫、ヘリコプター格納庫、 地上ヘリポート、災害対応エリア、 駐車場、エネルギー棟ほか
病床数	555床 (一般527、感染6、精神22)
診療科	31科

TAKAKO Tsukagoshi  
前橋赤十字病院図書室

うなので、これから事前に意見を提示していく目論見があった。要望書の原案は現在は日赤を退職されたI氏から助言いただいた。

2013年4月に新病院設計スケジュール説明会が催され、基本設計について造成設計業者契約、建設監理業者契約が立て続けに締結し、同年7月に職員に対する新病院のブロックプラン説明会で初めて設計図が披露された。しかしどの設計図にも職員図書室はなく、すぐに建設室に問い合わせたところ、設計事務所が配置し忘れたという想定外のできごとがあった。後に管理会議で医師からの申告もあり、同年10月の第2回ブロックプラン説明会では無事に図書室のスペースを確保することに成功した。2013年10月から設計事務所による部門別ヒアリングが開始され、各部署の必要室数、部門内の部屋レイアウト、動線の確認が行われた。ヒアリングは事前に提出した要望書に設計士が回答し、話を進めていった。設計されたヒアリング図面には必要な電気・給排水設備、室内の環境条件、適切な温湿度・換気条件・空気清浄度、必要備品を図面に書き足して行く作業に終始した。建設現場では、2014年の年末から用排水路付替工事が開始した。同時に埋蔵文化財発掘調査も行われ、病院の移転を自覚する年でもあった。2016年1月から、今までの設計図を基に設置する装置、電気・設備機器類、備品などすべての情報を1枚にした総合図を用いて詳細な設置位置、使い勝手についての聞き取り調査があった。新病院移転建築に向けた主なスケジュールは表2のとおりである。

### Ⅲ. 設置備品について

#### 1. 移動書架

当初は新設する予定だった移動書架は予算の都合上、移設となってしまった。

図書室の書架、机などの備品も予算の都合上、ほぼ移設となり、担当者が長さや幅を計り設置場所を設計図に書き込み、備品一つ一つにナンバリングされた要・不要シールを貼付していった。同時進行で新図書室に不足している備品の書き込みも行った。いま使用している備品を継続して使用するのは図書室だけでなく、患者さんの目に触れない部署はすべて使えるものはそのまま移設となった。新設される患者図書室のみ新しい什器が入ることとなった。

#### 2. カードキーの導入

テンキーによる開室で24時間利用できる図書室ではあるが、資料や物品の紛失などが過去にあり、利用者の安全面でも、患者さんやご家族が夜間休日に入入りしてしまった事例もあり、セキュリティに問題が多々あった。移転に伴い、常時カードキーでの入室が可能となった。しかし病院が利用を認めている実習生や教職員が利用する際、図書室をそのまま継続して利用できるのかが今後の課題となっている。

### Ⅳ. 2017年7月から9月までの記録

本稿執筆中の2カ月間の引越し業務を記してみたい。

#### 7月4日：メーカーと管財課で患者図書室の購入備品の第1回ヒアリング

がんサロンを併設するのでがん化学療法認定看護師看護係長にも参加してもらった。おおよその備品をメーカーから提示され、意見を出す。イメージしていた木製の暖かい雰囲気備品ではなく、スチールの無機質なものを提示されたので、修正をお願いする。テーブルは連結でも個別でも使用できるタイプにしろ、スチールで味気なかった書架は

並列でも立てても利用できる木製の棚に変更してもらった。追加備品でパンフレットケースやブックトラック、ブックスタンド、カウンター用の棚も要望を出す。ソファは重厚な感じではなく移動もできる軽めのタイプに変更してもらったが、どこまで希望が通るのか、今後の展開が待たれる。

### 7月14日 新病院見学会

医局秘書N氏とともに職員図書室と医局のある2階フロアの見学に出かける。見学時間は工事現場が昼休憩になる12時から13時と決まっており、第二管財課、病院建設室の担当者、現場監督者が案内をしてくれる。仮設事務所からヘルメットと軍手をかりて建築中の建物に徒歩移動する。舗装されていないので、とにかく砂埃がひどい。真夏日ではあるが怪我防止のため長袖長ズボン、スニーカーで肌を露出させない服装で見学。枠組みはできてきているが、クロスや床も貼られていないのでイメージが掴みづらい(図1)。ただ全体的に狭い印象。図書室は入ってすぐに移動書庫となるのでよけいにそう感じるのかもしれない(図2)。机、椅子、書架を現在の図書



図1 職員図書室  
カウンター付近  
(7月14日撮影)



図2 移動書庫付近  
(7月14日撮影)

室より多めに依頼したが、削ったほうがよさそう。

1時間の見学だか熱気がすごい。工事現場で作業されている皆様には、ひらすら感謝するばかり。

### 7月28日

引越し業者各社が図書室内の備品、資料を物量調査するため来室する。室内を撮影後、測量し、わずかな時間で退室していったが、こんな簡単な作業で概算ができるのか？プロだから目見当でわかるのかと若干不安になる。予算がないので担当者と所属課で資料備品を運搬してくださいということにならないよう願う。

### 8月10日 患者図書室の備品確認

残念ながらメーカーの展示場には行けず、写真でしか確認できないが、備品を決定する。LINEで写真を送ってもらい、患者図書プロジェクトにどれがいいか確認。座るところが丸い椅子がよかったのだが、患者さんの安全を考慮してしっかりした椅子になった。色は9月早々にヒアリングで決定する。

### 8月31日 部屋名称最終確定

変更があってもなくても提出が必須であったので、患者図書室は名称変更なしで提出した。愛称を考えてみたが、良い案が浮かばず、他施設の病院案内を見ても「患者図書室」とだけ記されているので、追々考えていくことにする。

職員図書室は「医学図書室」に名称変更、準備室は「司書室」、視聴覚室は看護研究でも利用するだろうから「グループ学習室」に部屋名変更の希望を提出した。後日、「医学図書室」の名称は却下された。

## 9月5日 2回目の見学と患者図書室の備品ヒアリング

急遽、2回目の見学に行けることになり、午後一時からの備品ヒアリングを考えずにあわてて現地へ医局秘書 N 氏と向かう。7月に見学した時よりだいぶ内装ができあがっていた(図3)。床は鉄版が敷き詰められ、土足厳禁なので図書室、医局、事務室はスリッパに履きかえて見学。天井、クロスが貼られ、なんとカウンターもできあがっていた(図4)。2段にしてもらったカウンターは高さがあるので、利用者から司書が見えないのではと心配される。



図3 職員図書室全体 (9月5日撮影)



図4 職員図書室 カウンター付近 (9月5日撮影)

なんとか間に合った備品のヒアリングではソファや椅子が布張りからビニールに変更されると説明があった。感染面への配慮らしい。色は悩んだ結果、インディゴブルーとスカイブルーの2色になった。椅子やソファの背もたれは、カーペットがダークグレーなので明

るめの木目に決定。

9月の図書委員会では所蔵基準に合わせ、図書や雑誌の廃棄や移管などの選別作業に着手する予定である。

## V. おわりに

新病院への引越しが本格的に開始する前に本稿を執筆しているが、まだ病院自体は引越しが漠然としすぎていて忙しい空気は流れていない。ある赤十字関係者からその日は突然やってくるとの助言を受け、廃棄作業を少しずつ開始している。これまでの経緯から学んだことは

1. 早期の段階で建設関連課との連絡、確認事項を密にとる。
2. 他施設の図書室の引越し、移設を経験した担当者に助言をもらう。
3. 図書室委員会または患者図書プロジェクトを立ち上げ職員からの協力を得る。

2018年2月に引き渡しされるまで、どこまで引越し業務を進行できるのか、この原稿を懐かしく思う日がくるのか、まだ不明であるが、この貴重な体験を今後、引越しを控えた方々の参考にしていただければ幸いである。

最後に病院建設室のみなさん、直前にスケジュール表をお願いしたにも関わらず、快く一覧を作成いただいた T 氏の的確な回答と情報提供に助けられたことは大きく、関係各所にお礼を申し上げたい。

新病院では患者図書室の運営を開始し、同室にがんサロンを併設することとなった。行先に課題は多いが、いままでのノウハウと新たな図書室業務を開拓し、新転地での一步を踏み出そうと思う。

## 参考文献

- 1) 小林美香子. 図書室引っ越し顛末記. 日赤図書館雑誌. 2012; 19(1): 12-20.

表2 新病院移転新築に向けた院内での主な動き

年月日	内容	検討組織など
H22. 10	病院建設準備委員会設置	
H22. 12. 13	第1回病院建設準備委員会 (これまでの経過説明、委員会業務等について)	病院建設準備委員会
H22. 12. 27	第2回病院建設準備委員会 (基本構想・基本計画策定支援の医療コンサル2社によるプレゼン)	病院建設準備委員会
H23. 1	医療コンサル業者決定	幹部会議
	キックオフミーティング、第3回病院建設準備委員会 (基本構想・基本計画策定に向けてのアクションプラン、院内プロジェクト体制の確認)	幹部会議、病院建設準備委員会
	基本構想策定にあたってのヒアリング (現状の問題点、新病院に対する要望)	幹部、診療部長、看護部、チーム医療
H23. 2	第4回病院建設準備委員会 (基本調査結果の共有)	病院建設準備委員会
H23. 3~4	第5回、第6回病院建設準備委員会 (新病院コンセプト、新病院機能、ワーキンググループ(WG)の検討)	幹部会議、病院建設準備委員会
H23. 4	新病院コンセプト、新病院機能、WG(1・8)の決定	幹部会議
H23. 5~6	WGによる基本計画検討	WG
H23. 7	WG全体報告会	WG
H23. 8	基本計画の調整	WG
H23. 9. 20	第7回病院建設準備委員会 (基本計画書の承認、追加WG(2)の立ち上げ)	病院建設準備委員会
H23. 10. 6	新病院基本計画説明会	全職員
H23. 10. 4~10. 8	現有医療機器調査	各部署
H24. 2. 17	第8回病院建設準備委員会 (基本運営計画の検討、プロジェクトチーム(PJ)(2)の立ち上げ)	病院建設準備委員会
H24. 2. 28	病院建設準備委員会主催 第1回特別講演会 演題:「石巻赤十字」の全てを建築・設備面から詳細に言及する 講師:(株)日建設計 瀬川 寛 先生	全職員
H24. 3~H25. 8	基本運営計画の策定	WG
H24. 7	物流基本計画の策定	WG
H24. 9. 3	第9回病院建設準備委員会 (今後の進め方等)	病院建設準備委員会
H25. 2	造成設計等業者契約	
H25. 4	設計監理業者契約	
H25. 4. 11	第10回病院建設準備委員会 (基本構想追加検討事項、基本設計スケジュールについて)	病院建設準備委員会
H25. 4	新病院設計スケジュール説明会	全職員
H25. 5	WG設計ヒアリング (各WGに対する設計と条件の確認)	WG
H25. 5. 29	第11回病院建設準備委員会 (第1回全体構成・ブロックプラン協議:土地利用計画、階層構成、ブロックプラン、病棟形状・看護単位について)	病院建設準備委員会
H25. 6. 11	第12回病院建設準備委員会 (第2回全体構成・ブロックプラン協議:階層構成、ブロックプラン、病棟形状・看護単位について)	病院建設準備委員会
H25. 7. 2	第13回病院建設準備委員会 (第3回全体構成・ブロックプラン協議:階層構成の方針決定、病棟形状の方針決定)	病院建設準備委員会
H25. 7. 16	第1回新病院ブロックプラン説明会	全職員
H25. 8	医療機器アンケート調査 (新病院で使用使用する医療機器及び必要諸設備条件の確認)	各部署
H25. 8. 8	第14回病院建設準備委員会 (第4回全体構成・ブロックプラン協議:外来診療部門の配置、ブロックプランについて)	病院建設準備委員会
H25. 9. 6	第15回病院建設準備委員会 (第5回全体構成・ブロックプラン協議:ブロックプラン、土地利用計画について)	病院建設準備委員会
H25. 9. 17	第16回病院建設準備委員会 (第6回全体構成・ブロックプラン協議:ブロックプランの決定、土地利用計画、スケジュールについて)	病院建設準備委員会
H25. 10. 1	第2回新病院ブロックプラン説明会	全職員
H25. 10. 11	第17回病院建設準備委員会 (第1回基本プラン協議:外来プラン・全体プラン・講堂について、設計プロジェクトチーム(P.T)(2.2)の立ち上げ)	病院建設準備委員会
H25. 10~11	第1回設計部門ヒアリング (必要諸室と室数、部門内の部屋レイアウト、動線の確認)	設計P.T
H25. 10. 31	第18回病院建設準備委員会 (第2回基本プラン協議:外来ブロックおよび病棟の診療科構成、基本プラン(第1次案)の変更について)	病院建設準備委員会
H26. 1. 21	第19回病院建設準備委員会 (第3回基本プラン協議:建築費大予算について、部門面積の調整、ブロックプランについて)	病院建設準備委員会
H26. 2	第2回設計部門ヒアリング (必要諸室と室数、部門内の部屋レイアウト、動線の確認)	設計P.T

年月日	内容	検討組織など
H26. 3	第2. 5回設計部門ヒアリング (第2回積み残し部門の確認)	設計PT
H26. 4	第3回設計部門ヒアリング (建具、医療機器・備品、造作家具等を記載したプロット図によるヒアリング)	設計PT
H26. 5	第3. 5回設計部門ヒアリング (第3回積み残し部門の確認)	設計PT
H26. 6	第4回設計部門ヒアリング (電気・給排水設備、室の環境条件(空調、シールドなど)の確認)	設計PT
H26. 7. 18	第20回病院建設準備委員会 (基本設計承認)	病院建設準備委員会
H26. 8. 14	病院建設準備委員会主催 第2回特別講演会 演題: Art in Hospital ～スウェーデンを旅して～ 講師: 銅版画家 山本 容子 先生	全職員
H26. 10～H27. 3	【実施設計】	設計業者
H26. 11	エネルギーサービス事業者特定	
H26. 11. 20	第21回病院建設準備委員会 (設計進捗報告)	病院建設準備委員会
H26. 11～H28. 5	第1次医療機器ヒアリング (新病院で使用する医療機器等の要望整理)	各部署
H26. 12	新病院設計職員説明会 (設計の概要説明)	全職員
H26. 12～H27. 10	用排水路付替工事	
H27. 1～9	埋蔵文化財発掘調査	
H27. 8	運用フロー検討チーム立ち上げ (15チーム)	運用フロー検討担当者
H27. 9	第1回運用フローヒアリング (患者の動きに沿った業務フローの策定、設備上の問題点・変更要望の整理)	運用フロー検討担当者
H27. 8～9	建設工事業者契約	
H27. 10. 7	起工式	
H27. 12	第2回運用フローヒアリング (第1回積み残し部門のヒアリング)	運用フロー検討担当者
H28. 1～H29. 4	総合図ヒアリング (部屋の大きさや扉、電気・設備機器、医療機器、備品など全ての情報を記載した総合図による使い勝手の確認)	設計PT
H28. 2, H28. 7	第3回運用フローヒアリング (第2回積み残し部門のヒアリング)	運用フロー検討担当者
H28. 6. 17	エネルギーサービス事業 安全祈願祭	
H28. 6	第1回新病院職員説明会 (これまでの検討状況説明)	全職員
H28. 6～8	モデルルーム内覧会 (病室、外来診察室のモデルルームに対し、建築設備・備品に関するアンケートを実施)	全職員
H28. 7. 20	アート・イン・ホスピタル メディア発表会	
H28. 9	第2回新病院職員説明会 (内装の考え方、内装仕上げの提案説明)	全職員
H28. 10	新病院外装・内装材サンプル展示会 (主要箇所のサンプルに対しアンケートを実施)	全職員
	第3回新病院職員説明会 (サイン計画の提案説明)	全職員
	新病院サイン計画の意見募集 (設計提案に対するアンケートを実施)	全職員
H28. 10～	運営計画検討組織の立ち上げ(既存の委員会を含む31組織) (新病院での運用、課題について検討)	委員会、PJ
H29. 1～	医療機器・什器備品PJヒアリング (移設品・不用(要)品・不足品の確認)	各部署
H29. 3	医療機器・什器備品PJ 第1回什器・備品購入エリア検討部会 (什器の仕様検討)	什器・備品購入エリア検討部会
H29. 3～4	病棟スタッフステーションモックアップ検証会 (一般病棟スタッフステーションの原寸模型による設備、備品の位置、使い勝手の検証)	病棟共通設計PT
H29. 4	医療機器・什器備品PJ 第2回什器・備品購入エリア検討部会 (什器の仕様検討)	什器・備品購入エリア検討部会
H29. 4～5	什器購入エリア打合せメーカー選定会および決定	幹部、選定メンバー
H29. 6. 2	第1回患者調査 (移送計画検討のための現状把握)	
H29. 6	医療機器・什器備品PJ 第3回什器・備品購入エリア検討部会 (什器の仕様検討)	什器・備品購入エリア検討部会
H29. 6～9	新病院現場見学会	全職員
H29. 7	什器・備品購入エリア 第1回ヒアリング (配置・製品の仮決定)	什器・備品購入エリアヒアリングメンバー
H29. 9	什器・備品購入エリア 第2回ヒアリング (配置・製品の決定)	什器・備品購入エリアヒアリングメンバー